

和方一萬方

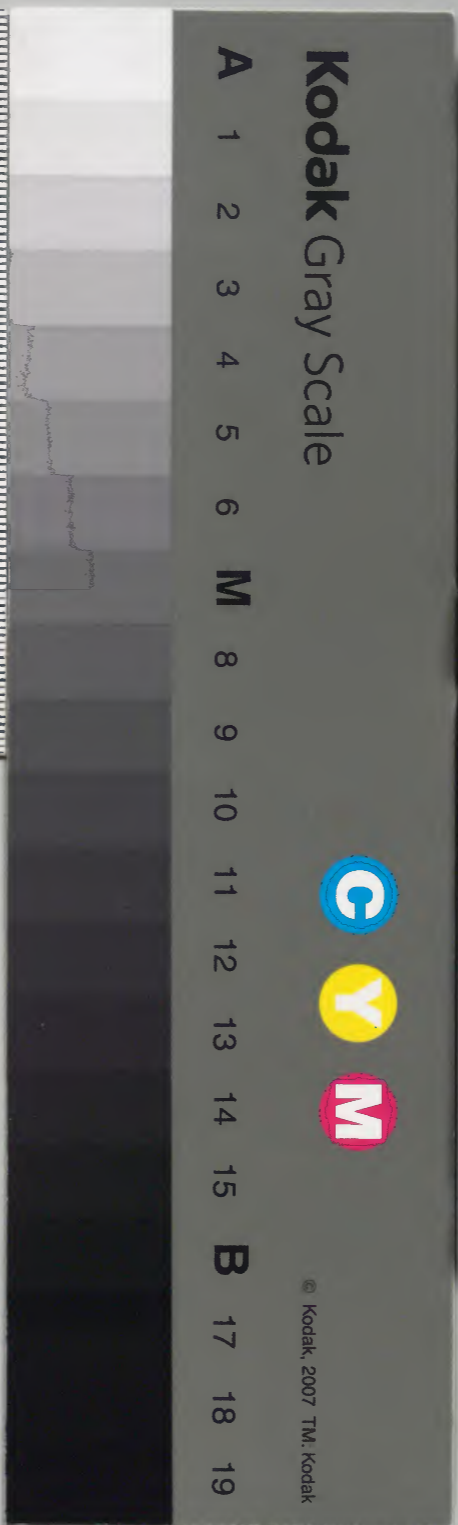
四十二

京

庫文官政太			
		三	和
		二	書
		〇	門
		一	
二	冊	架	函
		號	類

183	
內閣文庫	
番號	和 32012
冊數	42 (42)
函號	特103 2

共四十二



松江一魚一詩編卷之四十一

肥後縣志卷之四十一 辰野 卯年

雜記

痛風

刺新頭

右一味豆...

...

...

和方一萬方前編卷之四十一

肥後熊本藩 疾醫 卯井 枕 輯

雜部

痛風ヲ治ル方

草烏頭

右一味豆腐ノ中へ入レヨク煮日乾末

ニテ温酒ニテ用ユヘシ又痛ム所ニ酒ニテトキヌ

リテヨシ

又方

コへ松 又方 羌活

右二味酒水各半分ニテ煎シテ用ユヘシ

又方

茵芋^{ニツシ} ナモメノ莖陰干 茄莖根陰干

樟ノ木 甘草ツ

右五味大劑ニテ水ニテ煎シテ用ユヘシ

又方

山モノ皮 蒲黄 小麥多ノ粉各等分

ハラヤツ 又方

右四味細末ニシテ紺屋ノ糊ニテ子リハコベノ汁

ニテノへ付ヘシ

又方

干麩^{ワラビ}

右一味三年ニナルモノ黒焼細末ニシテ酢ニテ

トキ付ヘシ

又方

クヌギノ皮

右一味水ニテ常ノ如ク煎シテ洗フヘシ

又方

クサトキノ節 石榴ノ木

右二味等分水ニテ常ノ如ク煎シテ用ユヘシ

又方

山モノノ皮

右一味細末シテ紺屋ノ糊ニテ押交付ヘシ

又方

トウガメ黒焼

右一味細末シテウス茶二三服ホドツ酒ニテ

用ユヘシ

又方

アサカホノミ 一兩黒焼二兩香色二兩生

右何レモ細末シテヨキホドウス茶ニテ用ユヘシ

又方

樟ノ木

柳ノ皮

右二味水ニテヨキホドミ煎シテ熨ヘシ

又方

シキミ

桑ノ木

柳ノ木

忍冬

クサタツ

塩

右六味水ニテヨキホドニ煎シ度々洗ヒ熨スヘシ

風毒ヲ治ル方

シニク大

タカナカラシ中

白灰中少シ

小麥ノ粉中

穿山甲少シ

右五味細末ミシテ鶏ノ玉子ノ白ミミテ子リ付ヘ

又方

クヌギ十支

木通

金銀花

防己各三支

忍冬三支三分

大黃二支五分

人參

甘草各二支

右八味剉ミ大藥ノ通り水ニテ常ノ如ク煎シ

テ用ユヘシ

肩脊臂痛ヲ治ル方

艾二支

葱ノ白根一握

生薑十五支

右三味搗タ、ラカシ焼酒ヲタギラカシソノ中

ミヒクシ痛ム所ヲラサヘムスヘシ焼酒ナキオハ

好酒ヲ用ヒテヨシ

又方

ナモミノ葉 茄子ノ葉 トウゴロノ葉

右三色ノ葉何レモ痛ム所ニ七重或ハ十重ホ

ドレキツノ上ヨリ火熨キラスヘシ

筋ノ疼ミヲ止ル方

紅花 フクベノ霜 ヒキ蛙ノ霜各等

甘草少

右四味細末ニシテ酒ニテヒ一ツ、用ユヘシ

腑骨タテヌキノ方

仙人草 蓮ノ葉 石菖

夕ヅノ葉 藤コブ 忍冬

右六味剉ミ等分ニシテ水ニテ常ノ如クヨリハ

大服ニ煎シテ用ユヘシ

腑骨ノ痛ミヲ止ル方

カ下ノ油

右一味アツクハカシ付ヘシ痛ミ即止ム

筋骨ヤワラケノ方

當歸 川芎 忍冬

沙仁

人參各二匁

金銀花二匁

右六味剉ミ水ニテ常ノ如ク煎シテムスヘシ
其證アラバ又服スヘシ

腰痛ヲ治ル方

何首烏

右一味紙ニツ、ミ煨シテ細末ミテ温酒ニテ
ヒ一ツ、度々用ユヘシ又和ノ何首烏煨シテ
食スヘシ

又方

鹿ノ角

右一味五十目火ニ燒赤クシテヨキ酒ニ投
シツノ酒ヲ温メテ用ユヘシ

又方

黒大豆一升イリコカレテ

右一味酒ニテ煎シ不斷服スヘシ

又方

胡麻

右一味粉ミシテ酒ニテ用ユヘシ

又方

鼠ノ掘リ攪タル土

右一色イリテ布ニ包テムスヘシ

又方

雪駄ノウラ皮一匁黒焼

イ、カラ五分

フシ三分

右三味細ミシテ水ニテ常ノ如ク煎シテ用ユヘシ

腰ノチカイタルヲ治ル方

フク口角

一分生一分酒ミクシテ

イシミカワ等分牛ノヒタイ也

右二味細末ミシテ酒ニテ一ツ、用ユヘシ

批云イシミカワハ赤地利ナリ牛ノ

ヒタイハ無花果イチレクナリ

無花果ノ皮ヲ剥キ末ニシテ酒ニ漬ケテ飲ム
ハ脚氣ノ毒ヲ除キ又ハ脚氣ノ痛ムル所ニ貼ル
ハ脚氣ノ毒ヲ除キ又ハ脚氣ノ痛ムル所ニ貼ル

胡椒

胡椒ノ皮ヲ剥キ末ニシテ酒ニ漬ケテ飲ム
ハ脚氣ノ毒ヲ除キ又ハ脚氣ノ痛ムル所ニ貼ル

胡椒ノ皮ヲ剥キ末ニシテ酒ニ漬ケテ飲ム
ハ脚氣ノ毒ヲ除キ又ハ脚氣ノ痛ムル所ニ貼ル

脚氣部

枕按ルニコレハ今時ハヤル脚氣腫ノ

類ニアラス夕、脚膝ノ痛ム證ナリ

脚氣ヲ治ル方

赤ニシ霜一兩

山モノ皮

石ハイ 各二分

右三味細末ニシテ米ノ酢ニウスソクイ合

半セテ付ヘシ

又方

赤ニシ霜一兩

キワダ一兩三分

栝樓根 一兩五分

赤 右三味細末ニシテ米ノ酢ニテトキ付ヘシ

又方

牛ノ齒 香色 燕ノフシ 陰干 アラメ 霜

茄子ノ香物 三年ニ成ラ黒焼

赤 右四味細末ニシテ押合セ梅干ノ酢ニテ子

ヤシテ件ノ痛ム處ニ付ヘシ

又方

ニシシ

右一味黒焼細末ニシテ酒ニテ付ヘシ

換初 又方

天南星 糯米

右二味等分粉ニシテ薑ノ汁ニ合セ付ヘシ

牛ノ齒 又方

蛇皮

青 右一味赤ニシノカラニ入レ煎シテナモク霜ニ

テ合セ付ヘシ

又方

黄牛ノ尿 ^{アメウシ}モチノ粉

右二味等分細末ニシテハコベノ汁ニテトキ
付ヘシ

又方

青目ノ石

右ノ石一ツ焼テハコベニ包テ二七日ムスヘシ

又方

尸シケ馬ノ尿

右一味カ子ニテ合テ土器ニ入レ温メテ付ヘシ

又方

檳榔子ノ粉

右二味合セカ子ニテトキ付ヘシ

又方

牛ノ齒

右一味黒焼細末ニシテ酒ニテ用ユヘシ

又方

千カヤノ根

右一味水ニテ常ノ如ク煎シテ用ユヘシ

又方

糝

右一味粉ニシテ酢ニテトキ付ヘシ

又方

土牛膝各儀亂草各黒焼

右二味細末ニシテカキトヲシノ汁ニテ付ヘシ

半ハ齒ハ枕按ルニ儀亂草ハキラニソウナリ

又方 蛇含草ナリ

又方

小豆ナ又益カクシハ...

右一味粉ニシテ山巵子ノ汁ニ合セ付ヘシ

又方

防己 生ニク香色ニク黒炒ニク

右一味一貼酒水等分飯椀ニ入レ一ツ半ヲ下

ツニ煎シ滓再ヒ入レ一ツヲ半分ニ煎シ空心ニ

三服ス三五貼ヲ用ヒテ全愈ユ

脚氣下ノ方

アサカホノミ 十ク内ニク三分ハ霜ニク三分ハ香色

カフスノミ 五ツ 栴榔 牛膝 各ニク

脚氣筋ケノナユルニモ骨ウツキニモコハ

カサニモ用ユル方

牛ノ皮 霜三反 四十霜一反

右ニ味細末ヨキ程ニ糊ニテ丸ニ白湯ニテヨ

白キ程用ユヘシ

脚氣ヲ治ル方

カワラヒサケ十反 山歸來五反 甘草五分

右ニ味水ニテ常ヨリハ大服ニ煎ニテ服スヘシ

風ト濕ケトコモリ脚氣ヲナスヲ治ル方

ク口猫丸ヤキ 鹿ノ袋角 ヒキヲコシ

ユワウ 各等分

右ニ味粉ニシテソクイヲ梅ノ酢ニノヘテ付ヘシ

脚氣ヲ治ル方

ウシワククウ 黒焼大 ヒヤウタシ 黒焼中

紅花生中 甘草生少

右ニ味大服ニシテ其人ノ醉フ程ニ酒ヲカニ

ニテ度々用ユヘシ

卒中風ニテ五體ナエスクムヲ治ル方

黒大豆

右一味水ニテ煎シ服スヘシ

又方

鼠ノカキタル土

右一味布ノ袋ニ入テムスヘシ

又方

稻ノワラ

右一種モヤシテアブルヘシ

中風口ノユカムヲ治ル方

鶏ノトサカノ血 白キ物

右ニ味ヨキホドニ合セユカム方ヘ付ケロ

ノ上下ニモ付ヘシ入ルヘシ

又方

大麥ノ生粉 石灰

右ニ味細末ニシテ合セ付ヘシ

又方

桂心細末ニシテ
ニ反

右一味酒一升ニ入レ煎ニテカニヨクニテメテ

テ押ナホスヘシ

中風聲ノ失ヲ治ル方

辛竹ノ葉 桂心 各等分

右ニ味水ニテ常ノ如ク煎ニテカニヨクニテ

ク、ミ吞込ムヘシ

又方

橘皮 杉ノ葉

右ニ味水ニテ常ノ如ク煎ニテ服スヘシ

中風足筋ヒクヲ治ル方

ドウス 一匁 皂角ノハリ 五分

右ニ味粉ニシテ一トヒツ、酒ニテ切々用ヘシ

中風足痛ミ又痒キヲ治ル方

桑ノ木ノ葉 少シテ常ク煎キテ用ヘシ

右一味水ニテヨキ程ニ煎シテ洗フヘシ

中風中暑中毒乾霍亂ヲ治ル方

生薑ノ汁

右一味童子ノ小便ニ一セ用ユヘシ

癩疾ヲ治スル方

土龍

右一匹皮ハラワタヲ去リ串ニサシ醬油ヲヒ

キ炙リ用ユヘシ

右又方

苦辛 二十兩

ユツリ葉 同

百草霜 子ツミ色

右三味細末ニシテ白湯ニテヒ一ツ、折々用ヘシ

又方

イヌタテ

ヒル 黒焼各等分

右二味細末ニシテ六分ツ、白湯ニテ用ユヘシ
日ハ二度夜ハ一度穢物ヲ下セハヨシ

又方

猪ノ生キモ 野猪ナリ

右一具ウス味噌ニテ認テ七日ニ用ユヘシ七日
ノ間ハ硫黄ヲ中ノ茶一服ホドソノ度クニ加
スヘシ塩ハ一切ニイレス灸治ハ蟻ノ唐渡ノニシ
中ニ七日右ノキモ用ル間ニ毎日一火ツ、スヘシ
常ノ養生ハ虫發リタル時一火ニ火スヘシ

又方

反鼻

右一味生ニテ好キ酒ニ入レ死時出ニテ用ユ
酒モ用ユルナリ

又方

- マクリ 五分
- 木香 五分
- 欵冬 一分
- 苦楝皮 一分
- 醫草根 一分
- 松ノ緑 五分
- セシメノカ子 五分
- ウルシノ葉 五分
- 仙人草 五分
- 生番椒 五分
- 陰干
- 腹コモリ 霜

右十一味細末ニシテ一日ニ二々五分ノヲモサ
湯ニテ用ユヘシ

吐逆ヲ治ル方

椎茸ノクキ

右一味剉ミ水ニテ常ノ如ク煎シテ用ユヘシ止

又方

胡粉四十目 醋五合

右胡粉ヲ煎シカワカシ黒燒細末ニシテ粟ノ
飯ニテ大豆ノ大サニ丸シ七粒ツ、湯ニテ用ユヘ

又方

ヒ下シ
右一味スリ水ニカキタテ塩少入服スヘシ
胎前吃逆ヲ治ル方

丁子ハ入ハ

柳ノサ子中

烏梅中

右三味坐ミ水ニテ常ノ如ク煎シテ用ユヘシ

又方

ナメ豆ノ實

右一味ヨク干シテサメヤスリニテヲロシ少クツ

湯ニテ用ユ只坐テモヨシ

又方

白砂糖

右一味濃湯ニテタテ用ユヘシ

又方

キワダ酒ニ付テ霜ニテ一色香一色甘草少

右何レモ粉ニテ糊ニテ丸ニ用ユヘシ

吐セトシテ吐カス瀉セントシテ瀉セサルヲ治

ル方

塩二両

薑二分

右二味水ニテ常ノ如ク煎ニテ用ユヘシ

瀉下ヲ治ル方

シヤカノ腹ニ灸ケタテニ灸ヒヨトリシヤウコニテ

右三味粉ニテ湯ニテ用ユヘシ

船ニ酔タルヲ治ル方

十八サノケ霜

右一味細末ニテヒイツ、湯ニテ用ユヘシ

又方

櫻ノ皮黒焼

右一味細末ニテヒイツ、白湯ニテ用ユヘシ

船ニ酔サル方

大角豆ノ殻

右一味一夜酒ニヒタシ乾シ細末ニテ水ニ

テヒ一ツ、用ユヘシ

烟草ニ酔タルニ用ユル方

甘草一匁

右一味常ノ如ク水ニテ煎シ用ユヘシ

烟草ニムセタルニ用ユル方

生大根ノシボリ汁ヲ用テヨシ

酒ノ酔ヲ醒ス方

櫻ノ花

菊ノ花各等分陰干

右二味細末ニシテ白湯ニテヒ一ツ、用ユヘシ

酒ヲ止ル方

鼠ノ裸子一具黒焼

右一味細末ニシテ白湯ニテヒ一ツ、用ユヘシ

又方

鷄尾草ヤハトリノコ五月五日ニ取り陰干シ井ノ口ニ生スルモノヨシ

右一味細末ニシテ冷水ニテヒ一ツ、用ユヘシ

又方

朱砂

赤小豆各等分

右二味細末ニシテ五分或ハ七分白湯ニテ一

日二度用ユヘシ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

落馬ニテ疼ムヲ治方也

子ムノ木

イシミカハ

忍冬

益母草各黒焼

右四味等分細末ミシテセツヨリ内ノ男ノ童
便ニテシメシ塩湯ニテ用ユヘシ

胎毒又方

ウゴロモチ黒焼

右一味細末ミシテ水ニテ用ユヘシ

又方

夜明砂

右一味粉ニシテアタメ酒ニテ用ユヘシ

又方

胡粉

右一味粉ニシテ水ニテ用ユヘシ

落馬或ハ木石ニラサレ高キトコロヨリ落

益母草 疼ムヲ治ル方

葱

右一味水ニテ煎シテ飲ベシ或ハ痛所ニ付ル

オハソクサニ驗アリ

又方

黒鯛

右一味水ニテ煎シコレヲ食ニ服スヘシ

落馬ニタレ人ノ血下シノ方

小麥ソラ

右一味黒燒細末ニシテヒ一ツノヌル湯ニテ度

々用ユヘシ高キ所ヨリ落タルニモモツハラヨ

定製

右一味鶏ノトサカノ血ニテ丸ニ湯ニテモ水ニ
テモ用ユ鶏ノ血ニテヒ一ツ、用ユ寸ハナヲヨシ
物テ手チ負ソリニモヨシ

右一味鶏ノトサカノ血ニテ丸ニ湯ニテモ水ニ
テモ用ユ鶏ノ血ニテヒ一ツ、用ユ寸ハナヲヨシ
物テ手チ負ソリニモヨシ

黒腫

水ニ溺タルヲ治ル方

山カラ 黒焼

右一味鶏ノトサカノ血ニテ丸ニ湯ニテモ水ニ
テモ用ユ鶏ノ血ニテヒ一ツ、用ユ寸ハナヲヨシ
物テ手チ負ソリニモヨシ

又方

寒中ノ山カラノ霜ヲ管ニテ鼻ヨリ吹入ルヘシ
又方

生薑ノ汁ヲ牙ニマリテヨシ

又方

皂莢ノ末

右一味絹ニツミ、耳鼻下部ニ入ルヘシ

又方

ヤキドソス

右一味細末ニシテ竹ノ筒ニテ口鼻耳ノ前

後陰ニ吹入ルヘシ

又方

上茶

氷

右一味細末ニシテ臍ノ下ワリニ水ニテヌリ
付ヘシ

又方

炒米ヲツミ、胸腹ヲノスヘシ

又方

梅干ノ肉ヲヌリ付ル寸ハ開クヘシ

クビク、リ死タルニ用ユル方

肉桂

右一味水ニテ煎シ少ツ、用ユヘシ

又方

鶏ノトサカノ血ヲトリ用ユヘシ

頓死ヲ治ル方

ヨキ墨ヲスリ上酢ヲ和用テヨシ

物ニラトロキ氣色ナキヲ治ル方

家ノハリノ上ノ塵ヲ鼻ノ中ニ吹入レテヨシ

邪氣ニウタレタルヲ治ル方

狐ノ尾又糞ニテモ黒燒ニシテヒ一ツ、用ユヘシ

途中ニテ暑ニ中リタルヲ治ル方

蓼ノ葉 生薑

右ニ味同スリテ水ニテヒ一ツ、用ユヘシ

卯井冠五烜

男

卯井玄古 烜 謹校

門人 渡邊周齋 烜

和方一萬方前編卷之四十一 大尾

アテ酒ノ法

アテ酒ハ甘酒ナリ一夜アサトモ云釋名ニ釀之
 一宿而成トアルコトナリソノ法先糯米ヲヨク
 ヨクシラケ又ヨクク洗ヒ總令ハ一升ノ米ナラ
 ハ常ノ飯ヲ炊クマシニ炊キコカレツカ又マシニ
 炊キソノ飯ヲソノ釜ニシキ白糴ヲ一升ヨク
 ヨクモミテソノ飯トカキマセ又水一升ヲ入
 又ヨククカキマセ直ニソノ竈ニソノ釜ヲカケ
 フキソノ下ニタキタル火ニカタ炭ノ手拳

ノホトアルヲ三ツホトヲコシヨクク灰ニテキユ
ヌヤウニイケラクヘシ大氏短夜ナラ暮クニ
造ツ長夜ナラ五ツ比ニ造レハ旦ハ鶏鳴ノ
比ニハ成熟スルナリ故ニコレヲ鶏鳴酒トモ云フ
ナリ直ニソノ釜ニテトロクト夕キ置ケハ春
夏ノ際トテモ三日程ハヨキモノナリ此法早ク
成熟シテ數日ヲク妙法ナリ世ニ人々ノ知所
ナレ氏亦知ラヌ人ノ為メニ記シラクナリ

黒ヤキノ法

黒焼ト云ハ乃チ華ノカニアル所ノ焼存性ト云
ヒ又為霜ト云フコレナリ灰トナスト云ハソノ制別
ナリソノ法今ノ黄瓦蓋ト云ヒ又ハ黒焼蓋ト
云フモノナリ今大坂ニテ生玉宮ノ下ノ肆ニアル所
ノ黒焼藥店ニイロクノ大小ノスマキノ陶器ヲ
リ此ニツノ器ニソノ物ヲ入レテソノ上ヲ赤土ヲヨ
ククコ子制シ小石ナトノナキヤウニシテ塩ヲソ
ノ赤土ノ内ニ少入レソノ器ヲ厚サ五六分ホトニ

鑿^ルテ地ヲ大小ノ器ニヨリテ上下五六寸モ
アルホニホリ^テ先^ツソノ下ニ石ニテモ又ハカタキ
炭ニテモニツニツ柱ニタテソノ下ニケシ炭トカ
タ炭トヲマシヘ火ヲヲコシツケ又ソノ上ニモ同
シマウニ炭ヲ入^レテヨク火ノマヅルマウニスヘシ
自然ノト火マツリ焼ルナリ又鑪火鉢又ハク
ドカマドニテモヨロシキニ後^ニ右ノマウニシテ焼ク
ヘシ又モミヌカヲマシヘテモヨシヌカヲフケニテ少キ
物小キモノヲ燒^クニハ先^ツカワラケヲワフニテ十文字

ニカケテ法ノ如ク赤土ニテヌルヘシ大氏線香中官
香一本ニテ焼クルモノナリ烟ノ出ルモアリ又烟ノ
出^レサルモアリ臭氣ノ出ルモアリ見ハカラヒテ
取^ルアクヘシヨクサメテ後^ニヒラキ収ムヘシ

ハ善人トイハレシ人モ此病ヲウケヌレハ人ノ中ニ
モ用ナキニサシ出イフテジキ事ナトイ、テ人ノキ
ラヒニクムモ心付ズタチテチ惡人ニナルモノアリ
某年久シク多ク此病ヲウカ、ヒ奇方妙藥諸
家ノ秘傳テテモウケ習^{ナレ}テ治療シヌレトモツヒ
ニ此病ノヤツタ多ク治シタル人ヲモ見ズ又世ノ大醫
名醫^西ノ治シ玉ヘルヲモ或ハ見^キ或ハ聞^キヌレト一人ノ
全快シタルヲモシラス然レハイニシヘ天刑病トイ
ヒ世俗ニハ三惡病ノ第一トシテステ、治セサルモ

左アルヘシトヲモヒヌレハ猶^{ナラ}ク此病ヲウケ煩フ人
ヲアハレイタハシク思フハカリナリツラク此病
證ノヨリヌル所ヲタツ子案スルニ治スル病トハ
ヲモワレズヤツク其人ヲイトオシク思フハカリナ
リ近比見聞ノ次チニヲモヒ付タル事アリ空
ナル説トテ臆^シ断トモ世ノ人ノシカリ玉ハントモ
ヲモヘトモ千萬ニツモ助^テ補^トトモナラハトテ下
ニカキツケヲクナリ能ク思按工夫シ玉フヘシ今
ヨリ四五十年以前テテハ此病スクナシト聞シ

カ近比三十年二十年モ過テハ人此病ヲ煩フコ
ト誠ニ餘病ト大ニカハリナキヤウニナリ又然
レハ是世ノ末ニナリヌルホト此病多クシト見
タリ依テ是ヲカンガヘミルニ上下一カ民トモニ人
ジダラクニ成リヨリ此病ヲ煩フトシラル其故
ハレカシノ人ハ男女ノ間正シクミタリニ房中ノコ
トモナカリシトヲモフ別シテ國初ノ時ハ人心嚴
重ニシテ男女トモニ禮儀正シカリシマ女ノ月
水アル時ハ血アレトニテ奉公仕宦ニモ出ス人ニモ

アハズ其身ノケガレトシテツ、シミケルトナリ
元ヨリ其女ノソバニモヨラス其月水ノケガレ
ヲサケシコトカクノコトクナリ後ノ世ニナリテ
ハ男女共ニジダラクニナリテ血アレ血ケガレ
ハ其名ノミニニテ一所ニモ子フシテ其ケガレヲ
モサケズ是ヨリ世ニラヒ病ノ人ヲホシト其ホハ
決定シテヲモヘリ其故ハ女ノ月水ホドケガラ
ハシキモノハナシ又惡血ノ中ニモ在モワロキ血ニテ
アレハ月クニ瀉下シテ盡ヌルモノナリ此月水

瀉下セサル内ハ決シテ懷妊モセサルモノナリ此
惡血瀉下シテ女ハソノ胎ヲウケルモノナリシ
カルニ今ノ代ノ人々淫亂ニナリテ其妻妾七日
三日ノ間月水ノアルヲマテカ子ニテ多淫ナルモノ
ハ今日月水ヲツリヌレハ其夜ハヤ^{マシ}交^{ワル}スルモノ
アリ其時ステニ胎ヲウケヌレハ其^コ殘^リタル血
胎ノ内ニマシツリテ子ノ體トナリヌ其子成長
ニナリヌレハ其惡血一身ノ内ニノコリテツヒニハ
一所ニ^ニ暈^ノマウニナリ麻痺シテ又ハ此紫色黒色

トハツシテ癘病ノ根元トハナルナリ然レハ次第ノ
ニソノ惡血邪氣毒物ヲマテ子キ後ニハ一身斑ヲハツ
スレハ生血メグマヅシテ指モカバ^マツ切^レ足モマガツ
タル、ヤウニナルナリマコトニラソルヘキコト是ヨリ大
ナルハナシシバ^ク我^カ慾^心ヲマメ得^ス其先祖子孫
ヲシテ惡病ヲマテシルノミナラスソノ血脉斷絶スル
コトソノ罪ノガレガタキコトナリ世ニツクシミイ^マシムヘキ
コト是ヨリ大ヒナルハナシ人ハ父ノ精氣母ノ血氣ニテ
成就シ生産スルモノナレハ父母ノツクシミナキ故トイフ

ヘケレトモ父母モシラスシテ天命ヲウケテ生ル子
ナレハカク惡病ヲ胎内ニウクレハトテソノ父母ノ積
惡宿業トイフニ似タレ共ソノ生ル子ノ天刑トイフ
ヘシカナラズ父母ヲウフレルコトユメクアルヘカスワ
カ宿縁惡業ト心得テ常ニ善心ヲ修セハ又平愈ノ
時モアルヘシ是第一ノ療治ナリ 齟合又飲食毒
ニテハツスルトイヘト左ニハアラス是又ソノ毒氣惡心
血ヲタクワヘタル人イロクノ食物ヲクヒテソノ毒氣
ヲ引出シタルモノナルヘシ飲食ハ同シ物同シ時ニ他

人モスレモソノ人ノミ此病ヲハツスルハ誠ニ飲食ノ罪
ニアラス穀肉菓菜ハ天地ノ人ヲマシナフ道具ナ
レハ人ノアク病ヲハツスヘキマウナシヲノレソノ惡病
ノ根ヲタクハヘテ時ク飲食ニテハツシタルヲ飲食
ヲトガレルハ天地ヲウラムト同シナラクソノ病ノイユ
ル期ハナシイテシメツ、シムヘキコトナリ 打身ウチミ或ハハ
マリ病ニテハツスルモノアリ是モソノ毒氣ヲタク
ハヘタル故ハツストシルヘシ打身モ人クアリハマツ
病モ人ク煩ヘモ此惡病ヲ煩フコトナケレハ己カ

身ノ内ヨリハツスル病ト知ヘシ

一癘病血脉ノ子孫マテ煩フトイフ説アツコトハアルコトナリ今ハ血脉ノ家マテニテナシテヘニカクゴトク胎内ヨリ持來ルモノナリ一人是ヲ煩ヘハ子孫枝葉マテテノ内ニトカクツノ血ヲウケ引テ癘病ヲ煩フナリ末ノ代マテ斷ルコトナシヲソルヘシツクシヘシ女ニヨリテ月水ナクシテ初テ子ヲウシテ後モ月水マテヘノコトクナクテ又妊娠スルマテモ月水ナキモノアリタテクアレハ妊娠ノマヘニ少シアリテスクニ

ハラムモノアリ此人ノラムハマ、癘病ヲマムモノアリ此女ハ一子ヲ生マハサツツクニ生育ノ道ヲタタシムヘシ 其祖父祖母ソノ病ヲマミソノ子此病ヲヤマス孫ニイタソテマムモノアリ是モソノ祖父祖母父母ノ血脉ニソノ主母氣アルナリ

右ノ數條ヲ以テ癘病ノ證ヲカンカフレハ皆女ノ月水ヨリナス所ナリ誠ニキタナクケガラハシキイタリナリソノケガラハシキモノニテ一身ヲハラミタルコトナレハイカテヨキコトアルヘキヤ然ラハ何程良方名

術アリ氏此病ノイユル期ハアルヤシト思フ然レ
氏世ニハフシキナルコトノアルモノナレハヨク心ヲ
盡シカラ用ヒテ世ノ名方ヲタツ子用ヘシ唐ノ
孫思邈ハ一代ノ名醫ナリシガ一生ニ手ツカラ
癘病ヲ治シタルコト六百餘人ニシテ其内心ヲ
ノヨキ人十分ノ一人治シタリトイヘリ誠ニ治シカ
タキノ病ナレハ他人ノ子孫ニモ此病ノ根ヲタシ
ムベキコトヲ願フナリ其術ニ日月水スクナキ女ニ
ハ生育ノ道ヲタシムベシ一子ヲウシテ日月一年

ノ内ニチキ女ニハハラマシムベカラス

癘病アル人一生房事ヲタツヘシ我身ハツノ病イ
ヘカダク子孫アレハ末ノ代マデ此マデヒハンシヤウシ
タユル期ナシ

以上人ノ大切ニツシムベキコトナリ此書ヨリ
ビヤウノ根ヲタツ大事ノ一冊ナリ其心ツキコ
ロミタルコトアレハ一年ノ内ニ百冊ツ印施スルモ
ノナリ文字シリタル人ハシラヌ人々ニコレヲヨ
シキカスヘシアナカシコク

此一冊紙二枚ニシテ平假名文字ニテカキ梓
ニ彫^{ホリ}年久印施スルモノ癩病ヲ治スル一
トモナルヘシ

味ハ一萬ノ用ニシテ

皇ノ味三半ノ味ニシテ

享和三年癸亥閏月日

和方二萬方附録終

